

2021（令和3）年度

水俣環境アカデミア活動実績集



©2013エコパーク水俣バラ園キャラクター
エコバラちゃん#0065

水俣市地域振興課
水俣環境アカデミア

はじめに

水俣環境アカデミアは、高等教育・研究活動及び産学官民連携の拠点として、平成28年4月に開設し、これまで国内外から高校生、大学生、研究者等を受け入れて参りました。

水俣環境アカデミアでは、水俣病の教訓に基づき、水俣地域のみならず、国内外におけるSDGsによる「持続可能な地域社会の形成」に向けた取組を推進するため、人材育成、情報発信等の各種事業を行っています。また、地方自治体職員、環境省職員の研修や国際機関主催のワークショップ、シンポジウム等にも活用されています。

2021（令和3）年度においては、依然として新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、感染症拡大防止策はもちろんのこと、Web会議ツールの活用、参加人数の制限等を行いながら、水俣環境アカデミアシンポジウム、市民公開講座、プログラミングワークショップ等の事業を実施しました。

オンライン研修につきましては、現地研修と比べて内容が伝わりにくいといったデメリットがある一方、遠方の方でも参加できるといったメリットもあります。

このような状況の中、現地とオンラインを併用するなど、工夫し事業を実施できたところです。

新型コロナウイルス感染症に係る状況はまだまだ厳しいものがありますが、今後も、皆様方の御支援、御協力を頂きながら、水俣環境アカデミア活動を推進して参ります。



目次

ページ	
1	2021（令和3）年度事業実施状況
2	水俣環境アカデミアシンポジウム
3	水俣環境アカデミア市民公開講座
4	遠隔講義
5	水俣高校SDGsワークショップ
6	木育ワークショップ（産学官連携事業）
7	高大連携未来塾（1）慶應義塾大学×水俣高校
8	高大連携未来塾（2）日越大学（ベトナム）×水俣高校
9	中高生研究活動支援事業（1）研究体験プログラム
10	中高生研究活動支援事業（2）プログラミングワークショップ
11	視察研修の受入
12	国際貢献事業（1）2021さくらオンラインプログラム水俣研修
13	国際貢献事業（2）水俣条約推進プロジェクトへの支援
14	水俣環境アカデミア施設概要

2021（令和3）年度事業実施状況

事業項目	事業名	事業概要	実施状況	備考
の教育・研究活動の推進	水俣環境アカデミア調査・研究活動推進事業	国内外の大学・研究機関を訪問、共同事業検討やネットワーク強化・拡大を実施	一部実施	熊本県立大学、IGES北九州アーバンセンター、JICA九州等
	中高生研究活動推進事業	①研究体験プログラム ②プログラミングワークショップ	①変更実施 ②一部実施	(9、10ページ)
視察研修等事業	大学等からの研修等受入	慶應義塾大学、熊本県立大学等からの研修受入	実施	現地フィールドワーク、オンライン研修を実施(11ページ)
	遠隔講義	WEB会議ツールを活用した遠隔講義	実施	慶應義塾大学遠隔講義(4ページ)
	さくらオンラインプログラムみなまた研修	国立研究開発法人科学振興機構(JST)「さくらサイエンスプラン」を活用したオンライン研修実施	変更実施	コロナ禍において移動が制限されたため、オンラインによる研修を実施(12ページ)
	環境省環境調査研修所水俣研修	環境調査研修所が実施する、環境省職員・地方自治体職員研修の受入	中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
人材育成事業	水俣環境アカデミアシンポジウム	市民に対して、新たな知識を学ぶ機会としてのシンポジウム開催	実施	(2ページ)
	市民公開講座	市民に身近な話題・問題をテーマとした講座	実施	(3ページ)
	ジュニアサイエンスセミナー	小中学生を対象とした実験教室	中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
水俣高校支援事業	高大連携未来塾	水俣市と協力・連携している大学等と水俣高校による人材育成	一部実施	①慶應義塾大学(7ページ) ②日越大学(8ページ)
	木育ワークショップ(産学官連携事業)	産学官で連携し、地域木材をテーマとしたワークショップ	実施	(6ページ)
	水俣高校SDGsワークショップ	SDGsに係る人材育成を目的としたワークショップの実施	実施	(5ページ)
貢献国際	国際貢献事業	水俣の経験や教訓を海外に向けて発信	一部実施	(12ページ)
情報発信	情報発信基盤整備事業	令和2年度事業実績集、5年間活動実績集、SDGs取組事例集、館内パネル作成	実施	

水俣環境アカデミアシンポジウム

市民等に対し、先端的な「知」を学ぶ機会として開催。

2020年、水俣市が国から「SDGs未来都市」に承認されたことを受け、「地域資源を活用した持続可能な地域社会づくり」をテーマに実施。基調講演では、IGESサステナビリティ統合センター藤野純一氏に世界のSDGsの動向、国内における自治体の他事例等について講演いただきました。

また、パネルディスカッションでは、水俣で行われているSDGsへの取組について、様々な分野のパネリストから発表いただきました。

日時： 令和3年10月21日（木） 13:30～16:00

場所： 水俣環境アカデミア4Fセミナー室3

参加者： 86名（うち43名はオンライン参加）

1 基調講演

テーマ： SDGsに基づく地域社会づくり

講師： 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）
サステナビリティ統合センター
プログラムディレクター/上席研究員 藤野純一



2 パネルディスカッション

テーマ： 地域資源を活用した持続可能な地域社会づくり

パネリスト： 嶋田誠（生活協同組合くまもと理事長）
坂口和憲（みなまた和紅茶実行委員会委員長）
鶴山幸樹（水俣高校校長）
高岡利治（水俣市長）

コーディネーター： 篠原亮太（熊本県環境センター館長）

コメンテーター： 藤野純一（IGES）、古賀実（水俣環境アカデミア所長）



水俣環境アカデミア市民公開講座

水俣環境アカデミアでは、人材育成事業として、各大学及び研究者等と連携し、持続可能な地域社会の形成に向けて、住民の暮らしに身近で役に立つようなテーマでの市民公開講座を定期的を開催しています。

講座では、ワークショップを行い、参加者がただ話をきくのではなく、積極的にテーマについて考える取組を行いました。

自動車産業から見た地球環境への対応

日時：令和3年9月4日（土）

講師：UTモビリティサービス株式会社
モビリティサービス事業部企画推進室

室長 江島 正明

参加人数：55名



自動車産業の成り立ちや、カーボンニュートラルに向けての環境に配慮した取り組み、自家用車に頼らない移動を可能にする最新の技術を活用した「MaaS」について紹介していただきました。講義後、屋外に移動し、水素で走る車「MIRAI」を実際に見学しました。

明日をかえるエシカル消費

～買うモノ・買い方を賢くアップデート

日時：令和3年11月13日（土）

講師：九州地方環境パートナーシップオフィス

コーディネーター 澤 克彦

参加人数：23名



SDGsの視点から日常生活を見直し、一人一人が日常生活をアップデートするための、エシカル消費の考え方や捉え方を紹介しました。講義後半では、カードを使ったグループワークを行いました。

暮らしとつながるSDGs

日時：令和3年7月3日（土）

講師：水俣環境アカデミア 所長 古賀 実

参加人数：53名



SDGsの概要について講義を行い、特に「暮らし」の観点からSDGsについて紹介しました。講義後半では、「わたしの暮らしの中のSDGs」と題して、個人ワークとグループワークを行いました。

アンガーマネジメント

～怒りの連鎖を断ち切ろう～

日時：令和4年1月15日（土）

講師：一般社団法人日本アンガーマネジメント協会
アンガーマネジメントファシリテーター 宮本 隆文

参加人数：34名



講義では、怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニングである「アンガーマネジメント」の基本となる考え方について紹介し、怒りをコントロールする3つの手法についても紹介していただきました。

JETROがつなぐ熊本県企業の海外展開

日時：令和4年2月19日（土）

講師：JETRO熊本貿易情報センター

所長 齊藤 浩史

参加人数：23名



講義では、JETROの概要や、熊本県企業の海外展開支援事例等を紹介し、企業支援や国際的な仕事のやりがいについて講師自身の経験なども交えて紹介していただきました。

遠隔講義

水俣環境アカデミアでは、Web会議ツールを活用して遠隔講義を実施しています。これまで、熊本県立水俣高等学校と慶應義塾大学、熊本県立水俣高等学校と日越大学（ベトナム）、水俣市と慶應義塾大学など、様々な相手と遠隔講義を行い、水俣が持つ知識・知恵・教訓を広く発信しました。

開催日	内	容
6月1日	慶應義塾大学⇄熊本県地域振興課	「水俣・芦北地域振興計画について」
6月2日	水俣高校⇄日越大学（ベトナム）	高大連携未来塾①（ベトナム及び日越大学について）
6月18日	日越大学（ベトナム）⇄水俣市	高大連携未来塾②（水俣市について）
9月25日	長崎県立大学⇄水俣市	水俣オンライン研修①（水俣市概要、産業等）
9月26日	長崎県立大学⇄水俣市	水俣オンライン研修②（愛林館遠隔F W等）
9月27日	長崎県立大学⇄水俣市	水俣オンライン研修③（ディスカッション）
11月2日	慶應義塾大学⇄熊本県水俣病保健課	「熊本県における水俣病対策について」
12月8日	慶應義塾大学⇄モンヴェール農山	「山を育てるために豚を飼う」
12月22日	長崎県立大学⇄水俣市	オンライン報告会「SDGs未来都市への取り組み」

水俣市等 ⇄ 慶應義塾大学

日 時：令和3年6月1日（火）
テーマ：水俣・芦北地域振興計画について
講 師：熊本県地域振興課
聴講者数：慶應大生 13名

日 時：令和3年11月2日（火）
テーマ：熊本県における水俣病対策について
講 師：熊本県水俣病保健課
聴講者数：慶應大生14名

日 時：令和3年12月8日（火）
テーマ：山を育てるために豚を飼う
講 師：モンヴェール農山 農山文康 様
聴講者数：21名（慶應大生15名、水俣高校生6名）



水俣高校SDGsワークショップ

開催日：10月12日（火） 参加者：熊本県立水俣高等学校2年生 37名

水俣高校の活動支援及び「水俣市SDGs未来都市計画」に掲げる2030年のあるべき姿「みんなが幸せを感じ、笑顔あふれる元気なまちづくり」を達成するため、SDGsの普及啓発及び理解促進を図り、その担い手となる若い世代の人材育成を目的として、SDGsの基礎的な考え方を学び、SDGsのゴールを達成するために自分たちに何ができるかを考えるワークショップを実施しました。

【講義】

「暮らしとつながるSDGs」

講師：水俣環境アカデミア 所長 古賀実



【グループワーク】

7つのグループに分かれ、SDGsの17の目標の中からテーマとする目標を選び、その目標を選んだ理由、目標に関連して地域でどのような課題があるのか、目標を達成するために自分たちに何ができるかを話し合い、1枚のポスターにまとめました。



【発表】

各グループでまとめたポスターをもとに、発表を行いました。各発表に対し、水俣高校・染村副校長が講評を行い、最後に、古賀所長が総評を行いました。



	ゴール	課題	行動宣言
A	12「作る責任、つかう責任」 14「海の豊かさを守ろう」	・地元特産物が知られていない ・海洋プラスチック問題	・地域の特産品を知ろう！ ・落ちているゴミを見つけたら拾おう！
B	10「人の国の不平等をなくそう」 14「海の豊かさを守ろう」	・市外の人への水俣への関心の少なさ ・ジェンダーの違いによる外見からの縛り	身の回りにある小さな問題から解決していきます！
C	11「住み続けられるまちづくりを」	・人口減少 ・空き家、空き地が多い	・地域の草刈り、清掃ボランティアへの参加 ・日々の暮らしの中でごみを捨てない、ごみ拾い
D	4「質の高い教育をみんなに」 16「平和と公正をすべての人に」	・英語教育の重要性 ・水俣条約への理解促進	課題を解決するために、私たち自身の英語力向上に努める。また、たくさんの人に水俣条約などについて伝える。
E	3「すべての人に健康と福祉を」 10「人や国の不平等をなくそう」 16「平和と公正をすべての人に」	・水俣病への理解の差からくる差別 ・水俣病被害者減少による教訓の伝え方	・私たちは、水俣病のことを発信し続けます。 ・私たちは、水俣病被害者の思いを受け継いでいきます。
F	11「住み続けられるまちづくりを」	・過疎化の進行 ・少子高齢化	・積極的に議論をし、身の回りの大人に提案する。 ・地域のことについて学び、それを活用する。
G	3「すべての人に健康と福祉を」 11「住み続けられるまちづくりを」	・新型コロナウイルスによる運動機会、イベントの減少 ・高齢者の運動不足	・高校生主体になって運動ができるイベントを考える。 ・規則正しい生活習慣を若いうちから身につけて、健康貯金をしておく。 ・イベントを通じて地域交流を図る。

木育ワークショップ（産学官連携事業）

参加者：熊本県立水俣高等学校電気建築システム科建築コース3年生 4名

水俣環境アカデミアでは、地域木材を核に産学官のつながりを形成し、水俣高校の研究活動を支援するとともに、森林保全など持続可能な地域づくりについて学ぶ機会を提供しています。水俣高校生が林業・設計関係者から「森林保全の現状・課題」や「新庁舎への木の活用」について講義を受け、その後、新庁舎キッズコーナーの木製家具を設計。製作にあたっては、職人からの指導を受け、木製家具の製作技術を学びながら手作りで仕上げました。

【講義】

- 日時：6月18日（金）
- （1）講義①「水俣の森林保全、地域産材を取り巻く現状や課題」
講師：合同会社Wood one 森林施業プランナー 緒方幹雄
 - （2）講義②「水俣市役所新庁舎と木の活用」
講師：株式会社KAYアーキテツ 代表取締役 吉永啓
 - （3）製作物の検討



【製作】

専門家（水俣市建具組合）のアドバイスを受けながら木製製品を製作

期間：令和3年7月～10月

場所：熊本県立水俣高等学校

製作品：水俣市役所新庁舎キッズコーナー備品



【水俣市役所新庁舎落成式、内覧会】

日時：12月11日（土）

水俣市役所新庁舎落成式に合わせてキッズコーナーを設置。落成式後に開催された内覧会では、訪れた方に水俣高校生自ら、学んだこと、利用する子どものために工夫した点等を説明しました。



高大連携未来塾

地域内外の連携により、地域の未来を担う人材を育成することを目的とし、水俣市と協力・連携している大学（慶應義塾大学、日越大学：ベトナム）と水俣高校による「高大連携未来塾」を開催しました。

（１）慶應義塾大学×水俣高等学校

水俣市と協力・連携協定を締結している慶應義塾大学と水俣高校による高大連携未来塾を開催

Web会議ツールを活用し、コンピューターソフトMinecraftを使ってマップ上に水俣を再現することで、「過去、現在、未来の水俣」を考えるワークショップとして実施。慶應・植原先生より「なぜプログラミングを学ぶのか」「Minecraftの構成」「Minecraft上への水俣再現」について講義を行い、実施。Minecraftにおけるプログラミングの活用方法について学びました。

【第1回】

日 時：6月8日（火）

実施場所：慶應義塾大学⇄水俣高校（オンライン）

参加人数：51名参加（水高生39名、慶應大生12名）

内 容 ・講義「MinecraftとPrograming」



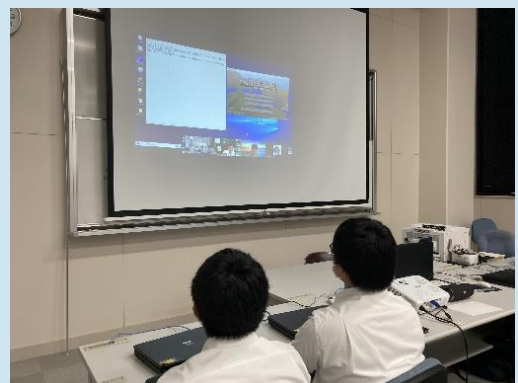
【第2回】

日 時 6月22日（火）16:30～18:00

実施場所 慶應義塾大学⇄水俣高校
（オンライン）

参加人数 51名参加（水高生39名、慶應大生12名）

内 容 ・マインクラフトのフィールドに何を作りたいか、慶應、水俣高校よりプレゼン
・プログラムを活用したブロックの配置方法



(2) 日越大学(ベトナム)×水俣高等学校

水俣高校のスーパーグローバルハイスクール活動の支援を目的に、ベトナムの日越大学と国際的な交流の機会を創出、Web会議ツールを活用し、オンラインワークショップを実施しました。

【第1回】

日時：令和3年6月2日（水）16:00～17:15
参加人数：水俣高校11名
内容：ベトナム及び日越大学について
日越大学 山口昌志（JICA専門家）



【第2回】

日時：令和3年6月18日（金）15:00～16:30
参加人数：19名（水俣高校11名、日越大学8名）
内容：（1）水俣市概要（講師：水俣環境アカデミア 所長 古賀実）
（2）水俣高校、日本の高校生活紹介
（3）研究テーマ発表
①ベトナムと日本の大気汚染
②水俣条約
③ベトナムと日本の英語教育
④いじめ問題



【第3回】

日時：令和3年11月17日（水）17:00～18:15
参加人数：20名（水俣高校11名、日越大学9名）
内容：各グループより中間発表。これまでの研究を発表し、水俣高校・松中教頭、日越大学・山口氏、水俣環境アカデミア・古賀所長より、最終発表に向けたアドバイスを行いました。



【第4回】

日時：令和4年1月25日（火）
参加人数：20名（水俣高校11名、日越大学9名）
内容：（1）各グループ（A～D）より発表 ※質疑応答
（2）講評
水俣高校・染村副校長
日越大学日本学プログラム学部長 ザン准教授
// 講師 トウイ先生
（3）総評
水俣環境アカデミア 古賀所長



【日越大学(ベトナム)】

日越大学は、日本政府とベトナム政府が2016年9月に開校した修士課程大学院。同校とは、平成30年度に水俣環境アカデミア調査・研究活動推進事業でネットワークを構築、その後、「さくらサイエンスプラン水俣研修」に研修生を招へいする等の交流を実施している。

中高生研究活動支援事業

研究活動を通して、将来において地域や社会の持続可能な発展や環境保全に貢献する研究や技術開発を志向する人材育成を目的に中高生を対象とした研究活動支援事業を実施しました。

(1) 研究体験プログラム

中高生に研究活動を体験する機会を提供し、研究活動への興味・関心を高め、自ら研究活動に取り組む人材の育成を目的に実施。研究活動に関する講義、理科教室の後、自ら研究テーマを決定、研究活動を実施し、その結果の発表を行いました。

参加者：5名（高校生4名、中学生1名）

協力：九州大学高等研究院五感応用デバイス研究開発センター 矢田部 准教授
福岡工業大学工学部電子情報工学部 巫霄（うしょう） 助教

日時：令和3年9月25日(土) 9:30~11:40

内容：①研究活動の進め方

②講義「味と匂いを測る」

③理科教室「身近な材料を用いて

塩味センサをつくりましょう！」

※各自で研究テーマを決め、研究活動を開始



日時：令和3年10月30日(土) 10:00~11:30

内容：①研究室オンライン見学

②研究活動中間報告



日時：令和3年12月18日(土) 9:00~12:00

内容：研究成果発表会

①各自の研究成果をもとに発表資料作成

②発表及び古賀所長講評

No	テーマ	学年
1	舌の仕組みについて	中2
2	即実践！洗濯物を早く乾かすテクニック	高1
3	ミネラルウォーターVS熊本の水道水	高1
4	ハイブリッドレシピは存在するか	高1
5	牡蠣のうま味について	高2



日時：令和4年2月28日(月)

13:30~14:00

内容：「牡蠣のうま味」研究成果発表

※ 研究結果について、水俣市漁協、市農林水産課への報告会を実施



(2) プログラミングワークショップ

情報科学分野の研究活動支援として、専門家による水俣高校生へのプログラミングメンター教育を実施。

その後、メンター教育を受けた高校生が小中学生にプログラムを教えるワークショップを実施しました。

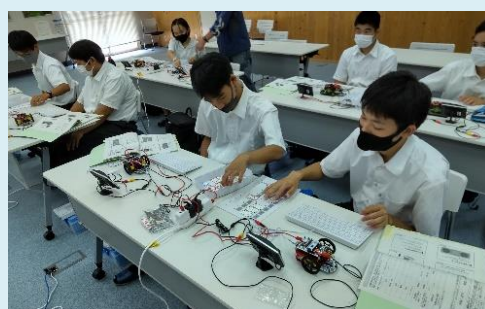
(1) 水俣高校生向けプログラミングメンター教育

日時： 令和3年7月2日（金）14:30～16:30

参加人数： 水俣高校電気建築コース1、2年生 7名

講師： 日鉄日立システムエンジニアリング（株） 技術研究協創センター長 萬谷 靖夫

- 内容：
- ・プログラミング体験
 - ・小中学生に教える際のポイント
 - ・コンピューターの歴史、システム開発の動向等講義



(2) 小中学生向けプログラミングワークショップ

- | | | |
|-----|-----------|--|
| 第1回 | 8月7日（土） | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 |
| 第2回 | 8月21日（土） | 新型コロナウイルス感染拡大により中止 |
| 第3回 | 9月18日（土） | 21名参加（小学生19名、中学生2名）
※メンター6名 |
| 第4回 | 10月9日（土） | 28名参加（小学生24名、中学生4名）
※メンター12名（うち水俣高校生6名） |
| 第5回 | 12月25日（土） | 23名参加（小学生21名、中学生2名）
※メンター14名（うち水俣高校生8名） |

[内容] コース1「信号機を作ろう！」（小1、2年生向け）

コース2「ロボットカーを自動で走らせろ！」（小3～中学生向け）



視察研修の受入

水俣環境アカデミアとネットワークのある大学の研修、フィールドワークの受入を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、現地での受け入れができなかったものについては、WEB会議ツールを活用し、オンライン研修を実施しました。

(1) 長崎県立大学

「SDGs未来都市の取り組み～熊本県水俣市を事例として～」水俣オンライン研修

- 日時： ①オンライン研修
令和3年9月25日(土)～27日(月)
②オンライン報告会
令和3年12月22日(水) 12:50～14:50
- 参加者： 12名
- 内容： ①オンライン研修
- ・水俣市概要、SDGs未来都市について
 - ・高度ごみ分別、水俣エコタウンについて
 - ・愛林館遠隔フィールドワーク
 - ・水俣の海と生物 等
- ②オンライン報告
環境、社会、経済の3チームより成果報告



(2) 熊本県立大学フィールドワーク

「環境モデル都市への取り組みとエコハウス」

- 日時： 令和3年11月20日(土)
- 参加者： 熊本県立大学環境共生学部居住環境学科
田中昭雄 教授
学生 19名
- 内容： 講義「水俣環境アカデミアの活動と国際貢献 ～水俣から発信する世界の環境問題～」
講師 古賀所長
- ・水俣病資料館、水俣エコハウス見学



国際貢献事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、現地での研修等は実施できませんでしたが、WEB会議システムを活用したオンラインによる研修を実施しました。

(1) 2021さくらオンラインプログラム水俣研修

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）のさくらサイエンスプログラムについて、例年は研修生を海外から招へいしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン研修（※）として実施しました。

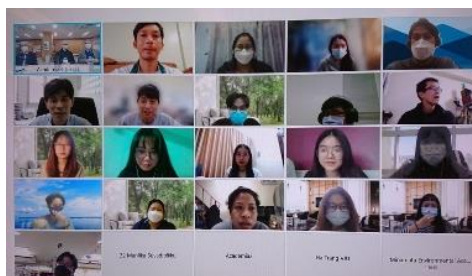
アジア地域における大学生を対象とし、（1）水俣病に関する知識（2）水銀、環境関連技術（3）水俣市の地域再生に向けた環境モデル都市づくり、SDGs未来都市への取組への理解を促進し、持続可能な社会の構築に資する人材の育成を行いました。

※ 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「さくらオンラインプログラム」制度を活用

期 間：令和3年11月16日（木）～12月14日 ※週2回程度

参加者：26名 [内訳]日越大学(ベトナム)9名、国立台北科技大学(台湾)7名、カセサート大学(タイ)10名

日	講 義	講 師 等
11月16日（火）	研修概要について	水俣環境アカデミア・古賀所長
	水俣市概要、SDGs未来都市、アカデミアについて	水俣環境アカデミア・古賀所長
	新国富指標による地域持続可能性	九州大学・キリー助教
11月18日（木）	水俣病概要、語り部講話	水俣病資料館、水俣病語り部・緒方正実氏
11月25日（木）	国立水俣病総合研究センターについて	国立水俣病総合研究センター・松山部長
	水銀分析技術研修	いであ株式会社・内田圭祐氏
	アジア太平洋地域水銀モニタリングネットワークについて	いであ株式会社・服部達也氏
11月30日（火）	水俣湾公害防止事業	熊本県環境センター・篠原館長
	水俣湾における海の生物	水俣ダイビングサービスSEA HORSE・森下代表
	水俣地域における水銀対策にも資する環境保全手法の実態調査について	水俣環境アカデミア・古賀所長
12月2日（木）	ごみの分別、処理	水俣市環境クリーンセンター
	水俣エコタウンについて	市経済観光課、(株)アール・ビー・エス、(株)田中商店
12月7日（火）	JNC(株)事業について	JNC(株)・脇永次席
	寒川地区小水力発電について	寒川地区・寒川代表、市経済観光課
12月8日（水）	環境問題・SDGsへの取組（水俣高校生とのディスカッション）	水俣高校
12月14日（火）	水俣病の教訓を踏まえた持続可能な地域社会構築についてのディスカッション	熊本県立大学・レイヴィン先生



(2) 水俣条約推進プロジェクトへの支援

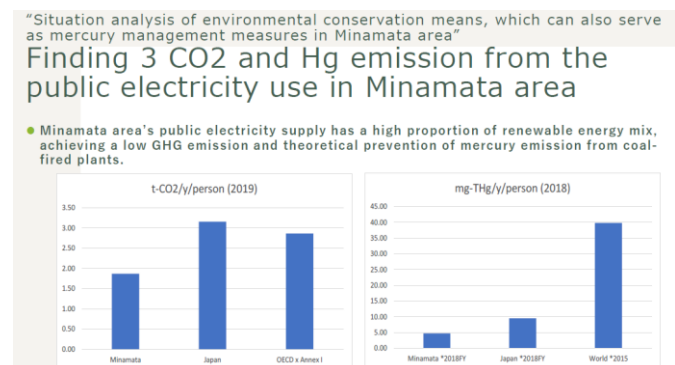
国連環境計画アジア太平洋事務所（U N E P R O A P）が実施した「水俣地域における、水銀対策にも資する環境保全手法の実態評価」への協力を行いました。

本調査については、水俣地域における環境保全への取組がもたらす水銀管理向上効果・水銀以外のコベネフィット効果を調べ、S D G s の達成に向けて実際に貢献していることを定量的に示すことを目的としています。

実施主体： 国連環境計画アジア太平洋事務所（U N E P R O A P）
※一般財団法人海外環境協力センター（O E C C）への委託事業

調査内容： (1) 再生可能エネルギー電力導入促進によりもたらされたコベネフィット効果
※再生可能エネルギー導入によるC O 2 排出抑制等
(2) 総合的な一般廃棄物管理行政にもたらされたコベネフィット効果
※ごみの高度分別による水銀含有物の適正な処理等

協力内容： ・古賀所長のシニアアドバイザー就任
・各種データ収集

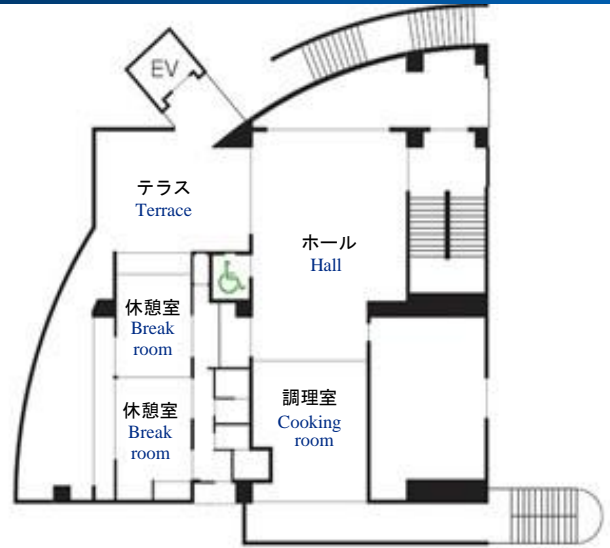


調査結果については、国連環境計画（U N E P）の水俣条約実施支援プロジェクトステークホルダー会合において発表されました。

水俣環境アカデミア施設概要



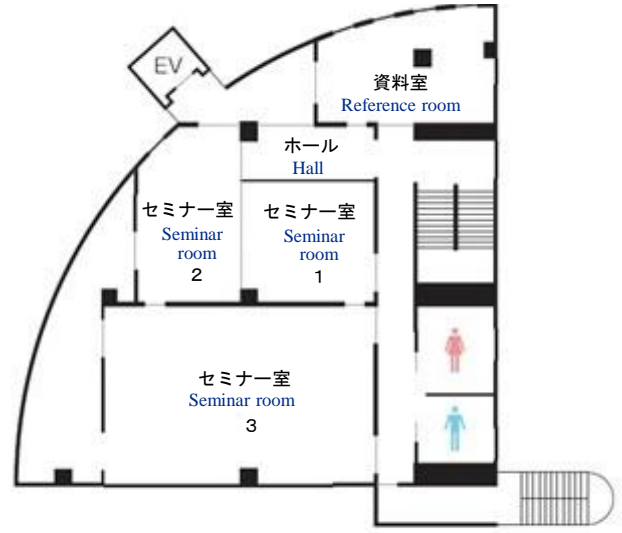
1 F



2 F



3 F



4 F



1 F ラウンジ Lounge



2 F 休憩室 Resting room



2 F 調理室 Cooking room



3 F 研究スペース Research space



4 F セミナー室 1 Seminar room 1



4 F セミナー室 3 Seminar room 3

◆ 開館時間：9時～19時

◆ 休館日：土日祝日および年末年始（12月29日～1月3日）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

水俣市は、
SDGs 未来都市です

水俣市総務企画部地域振興課
水俣環境アカデミア
〒867-0023
熊本県水俣市南福寺6-1
TEL: 0966-84-9711
FAX: 0966-84-9713
E-mail : academia@city.minamata.lg.jp

Minamata City
Minamata Environmental Academia
6-1 Nanpukuji, Minamata, Kumamoto
867-0023, JAPAN
TEL: 81-966-84-9711
FAX: 81-966-84-9713
E-mail : academia@city.minamata.lg.jp